

# 第2回 2年目看護師育成研修

「患者さん個別の背景と想いを汲み取った入退院支援」  
～患者のニーズをとらえて私たちができる看護ケアを考えよう～

2年目看護師を対象に10月18、23、29日に開催しました

目的：自立した看護師として看護実践できるための  
知識・技術・態度を修得する



- 目標：1. 地域包括ケアシステムにおける当院の位置づけが理解できる  
2. 患者が住み慣れた生活の場で暮らすために必要な看護ケアと根拠が説明できる  
3. 患者のニーズをとらえ、個別性を踏まえた看護ケアを考えることができる

## 事前学習

- ①新採用者オリエンテーション  
「MSC・地域医療連携センターについて」の資料を再確認する
- ②資料確認後、研修で登場する模擬患者の事例から、  
具体的目標を考えてワークシートに記載する

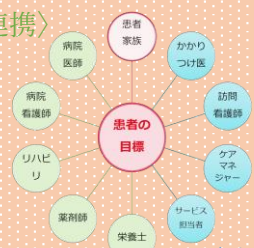


患者さんとともに  
考える具体的目標は..

## 講義



〈院内連携〉



〈院外連携〉

※講師資料を抜粋

退院後の生活における  
「患者の目標」に沿って、  
個別性のある看護を実践  
していきましょう



講師 メディカルサポートセンター  
地域医療連携センター  
山口真美看護師長

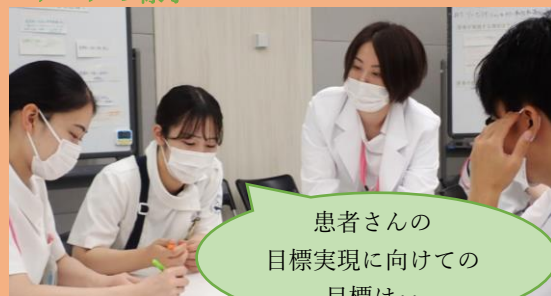
入退院支援プロセスを  
日々の看護で実践する方法  
について知識を深めました

## グループワーク

ワーク①②③の流れで入退院支援について  
考えました。  
グループ毎に発表して共有しました

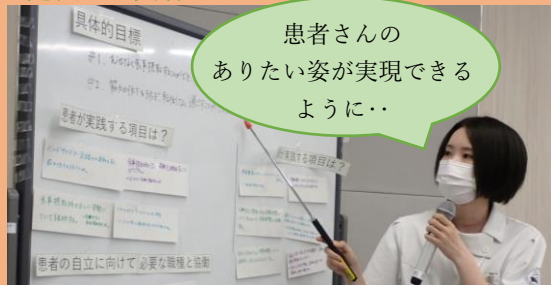
| ①具体的目標 ワーク① 1人1人の具体的目標を共有し、一つにしばる                                         |                                      |
|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| ②-1患者が実践する項目                                                              | ②-2看護師が実践する項目                        |
| ※なぜ必要かも考える<br><br>ワーク② グループで決定した具体的目標を達成するために<br>患者、看護師が実践する項目を考える        | ※なぜ必要かも考える                           |
| ③患者の自立に向けて必要な職種と協働                                                        |                                      |
| 多職種連携、チームアプローチ<br>※患者の目標を実現するために、誰につなぎますか？<br>なぜ必要と思ったのですか？グループで話し合いながら記入 | ワーク③ 患者の目標を実現<br>するために誰につなぎかを<br>考える |

## ワークの様子



患者さんの  
目標実現に向けての  
目標は..

発表して共有



患者さんの  
ありたい姿が実現できる  
ように..

部署の皆様へ

患者の個別の背景に寄り添って看護介入を実践  
することの大切さを改めて学びました。  
今後の計画立案や実践につながるよう  
引き続きご指導をお願いします。



作成者：木村由紀、下釜聖子

## アンケートの自由意見

- ・退院することを目標とするのではなく、自宅での生活を考えて、他職種と介入していくことの大切さを学ぶことができた
- ・患者さんが退院後に望むことや生活をしっかりと理解することが退院支援を行っていくためには大切だと改めて感じました
- ・退院後の生活を見据えた介入を入院した瞬間から考えることが必要だと思いました